

## クマ牧場にも春がきた！！

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ  
クマ牧場通信  
73号2023年  
7月1日

発行

のぼりべつ  
クマ牧場  
動物課

仲睦まじく、並んで寝るコロソ (左) とベクト (右)

## クマ牧場の

## 恋愛事情



今年も繁殖を目的とし、血統や性格を見ながら飼育員で話し合い、2組のペアリングを行いました。

1組目は、出産経験があるコロソ(♀24歳)と今年初のペアリングとなるベクト(♂5歳)です。4月13日から格子越しでお見合いを始め、翌14日には同居しました。お互いに威嚇することもなく、すぐに交尾行動が確認されました。6月上旬には、コロソがベクトに対して、お尻を向ける発情行動が頻繁に見られ、日中は2頭仲良く寝ている姿も見かけられました。

2ペア目は、2頭とも初のペアリングとなるマロン(♀10歳)とトッキー(♂5歳)です。4月14日から格子越しで顔合わせを始め、翌15日から同居しました。年上であるマロンがお尻を向けてリードをすると、トッキーもマロンに合わせて交尾行動をしていました。また、トッキーが積極的に近寄るとツンデレのマロンは少し嫌がる素振りを見せてクマパンチを繰り返すこともありましたが、トッキーは怒ることなく紳士的な対応をしていました。そんな様子を、飼育員は温かく見守りました。ツンデレなマロンは、時にはお腹を見せ、

寝転がりながら両前肢を上げ、トッキーはマロンの前肢をハムハムと甘噛みしながらじゃれ合うような仲睦まじい一面も見られました。来春にはまた可愛い子グマが誕生してくれるよう、皆様も是非4頭を応援しててください。そして、出産までの経過も、引き続き観察してご報告したいと思います。

## まゆのくまさん



イコ (1)

胸元に大きな白斑(白い模様)があるクマです。昨年までは子グマ牧場にいましたが、その時と比べると体つきが大きく変化しています。

放飼場に出ている時に上から覗くと、二足立ちでまっすぐこちらを見つめてきたり、獣舎の前を飼育員が通ると人懐っこくついてきたりします。活発なお年頃なので、毎日同じ歳のクマ達と楽しそうに追いかっこなどをして遊んでいます。

これからの成長も楽しみます！



# ハルのトレーニング記



ハルがトレイニングを始めてから、約6か月が経過しました。最初はとても警戒していてステージに上がることも難しいような状況でしたが、現在は少し慣れてきて、時間をかけながらゆっくりと出てくるようになりました。また、今まではステージの遊具にあまり興味を示さなかったハルですが、最近では平均台の上に登ってくれるまでになりました。高い場所に位置する丸太によじ登る様子も見られ、日々成長を感じます。



平均台に登ろうとするハル

しかし、まだステージに上がるまでの通路を少し警戒しており、なかなかスムーズにはいきませんが、時間をかけて移動をしています。他個体の匂いを気にすることが頻繁に見られます。少しずつではありますが、ハルの警戒心を減らせるように、エンリッチメント器具の充実に、エンリッチメント器具の充実化を行い、日々楽しみながらトレーニングできるようにしていきたいです。



ステージ内を走りまわるハル

## 今月の一挙

くま

シンクロ率

知らぬ間に

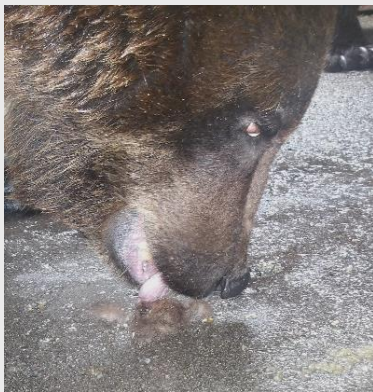
急上昇



**エフリテイ**  
**エンリッチメント!**

のほりべつクマ牧場では季節に合わせたエンリッチメントを提供するために、1週間ごとに内容を変えたエンリッチメントカレンダーを作成しています。

5月、6月は、クマたちは繁殖期の真つ只中！餌よりも他のクマのニオイなどに敏感な時期です。そのためこの時期のエンリッチメントには、異性や同性の体毛を利用しています。また、6月のカレンダーでは、日替わりで高齢個体と若齢個体の毛を使用したり、前日と同じ内容にならないように調整し、個体によって行動にどのような変化が起きるのかを調べています。実際にどんな結果が出たのかは次号でお知らせいたします。今後クマ達が幸せで健康に暮らせるように取り組んでいきます。



他のクマの毛のニオイに興味津々なトクト

## 子グマたちの離乳



子グマが生まれて半年ほどが経ちました。6月24日の計測では、一番大きなキスケで体重22・6kg、一番小さかったエフも13・6kgになりました。みんな体が大きくなってきたため、5月20日から少しずつ離乳を始めています。

離乳食は、ミルクにクマ用ペレット(通称:オリエンタル)の粉末を少しずつ混ぜていきます。サラ・キスケ・アクアの3頭は初めからオリエンタル入りミルクを飲んでいましたが、エフとクリンはミルクだけを好んでいる様子でした。離乳を開始して数日間は容器の底にオリエンタルの粉が残っている状態でしたが、少しずつ残る粉の量も減り、今ではミルクよりオリエンタルの割合が増えた離乳食も綺麗に完飲しています。

今後、体重や食いつきなどを見ながら、少しずつ大人のクマと同じ餌に変わっていきます。日々の子グマの成長を温かく見守っていきましょう。



オリエンタル入りのミルクをなめるアクア